

n 個の正数の平均 (相加平均・相乗平均)

3 つの正数 a, b, c について、

$$\frac{a+b+c}{3} \geq \sqrt[3]{abc} \dots\dots ①$$

[証明 1] まず、 A, B, C が正の数であるとき、

$$\begin{aligned} & A^3 + B^3 + C^3 - 3ABC \\ &= (A+B+C)(A^2 + B^2 + C^2 - AB - BC - CA) \end{aligned}$$

そして、

$$\begin{aligned} & A^2 + B^2 + C^2 - AB - BC - CA \\ &= \frac{1}{2} \{ (A-B)^2 + (B-C)^2 + (C-A)^2 \} \geq 0 \quad (\text{等号成立は } A=B=C \text{ の場合}) \end{aligned}$$

であることから、 $A^3 + B^3 + C^3 - 3ABC \geq 0$

となり、 $A^3 + B^3 + C^3 \geq 3ABC$

ここで、 $A = \sqrt[3]{a}, B = \sqrt[3]{b}, C = \sqrt[3]{c}$ とおくと

$$\frac{a+b+c}{3} \geq \sqrt[3]{abc}$$

が得られます。

[証明 2] 2 つの正数 a, b について、

$$\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$$

であるから、4 つの正数 a, b, c, d のとき、

$$\begin{aligned} \frac{a+b+c+d}{4} &= \frac{1}{2} \left(\frac{a+b}{2} + \frac{c+d}{2} \right) \\ &\geq \frac{1}{2} (\sqrt{ab} + \sqrt{cd}) \geq \sqrt{\sqrt{ab}\sqrt{cd}} \end{aligned}$$

したがって、 $\frac{a+b+c+d}{4} \geq \sqrt[4]{abcd} \dots\dots ②$

ここで、 $d = \frac{a+b+c}{3}$ とおくと $a+b+c = 3d$ だから、

$$\frac{3d+d}{4} \geq \sqrt[4]{abcd}$$

つまり、 $d \geq \sqrt[4]{abcd}$

両辺を 4 乗して d で割ると $d^3 \geq abc$

したがって $d \geq \sqrt[3]{abc}$

よって $\frac{a+b+c}{3} \geq \sqrt[3]{abc}$

② で等号成立は $a=b, c=d, ab=cd$ の場合で a, b, c, d は正数であるから $a=b=c=d$

したがって ① で等号成立は $a=b=c$ の場合である。